

働いている人に聞きました！

休暇を取ってもいいのか悩むのではなく、必要な時は取ろう！

どんな制度があるの？ 働き方を知りたいの？

最近、子どもが産まれ、配偶者出産付添休暇を利用しました。今、生活の中で大切にしたいのは子どものことですが、育児休暇の取得は職場の人数などを考えると難しいと感じています。他の休暇制度を上手に利用し、夫婦で協力して子育てをしていきたいです。

料理など家事は苦手ですが、将来的に夫婦で仕事に出るようになった時のために、現在、勉強中です。



オーエヌ工業入社8年目
山口 航さん
(宮尾)

突然、子どもが熱を出した時でも、気兼ねなく看護休暇の取得ができるので、夫婦で助け合うことができ安心です。洗濯などの家事が溜まらないように、一緒に頑張っています。

子の看護休暇制度は、職場の人がたくさん利用しているもので、取ってもいいか悩むことはなく、必要な時に取ろうと自然に思える環境です。

今は有給休暇が半日単位での取得ですが、時間単位で取れるようになれば、保育園や学校への迎え、学校行事などにも参加しやすくなると思っています。



オーエヌ工業入社11年目
穴戸 誠さん
(東一宮)

突然、子どもが熱を出した時でも、気兼ねなく看護休暇の取得ができるので、夫婦で助け合うことができ安心です。洗濯などの家事が溜まらないように、一緒に頑張っています。

会社全体が大きな家族のように、わたしも家族も育ててもらっています！

タカシマさんのワークスタイル

通常 子どもの習い事の日

始業 9:00 始業

▼

昼休み 12:00 昼休み

▼

16:30 終業 子どもの送って帰宅

▼

終業 18:00 帰宅

わたしには小学3年生の子どもがいます。入社当時はまだ小さかったのですが、急に発熱することもありました。そのような時は、子どもの状態に合わせて、子連れ出勤や在宅ワークができるので、とてもありがたかったです。子どもが心細い思いをしている時に、そばにいなから働くことができ、この制度には何度も助けられました。

会社は、働いている社員のことだけでなく、子どもや家族の状況にも親身になって寄り添い、理解してくれるので、会社全体が家族のようです。働き方に対する会社の考えに魅力を感じて、転職してきた社員もいます。

普段からしっかりと会話ができ、笑顔の多い職場です。月に1回は社員全員で昼ご飯を食べ、ゆっくりと話ができる時間があります。どんな時でも、会社が社員を大切にしてくれていると感じられるので、仕事に集中して取り組めます。今後も社内全体でいろいろな働き方について考えていきたいです。



レプタイル入社4年目
タカシマナミさん
(東一宮)

ワーク・ライフ・バランスの充実で「住みたいまち、魅力的なまち・津山」に！



ワーク・ライフ・バランスの充実には終わりはありません。充実した自分らしい生き方や働き方は、人それぞれで異なり、その人自身を取り巻く環境や時期などによってさまざまです。

また、働く人や企業のどちらかが頑張れば良くなるというものでもありません。一人ひとりが自分らしく生きるために、今、必要なことやできることを、職場や家族など、みんなで考えていきましょう。

認定企業さんに聞きました！

使われる制度でないといけない！ 認定企業第1号 オーエヌ工業株式会社(上田邑)

新しく作った配偶者出産付添休暇制度や、対象を未就学児から小学生までに拡充した子の看護休暇制度は、今では男性社員も多く利用しています。

一方で、女性の育児休暇取得率は100%ですが、会社を離れることや金銭面での不安などからか、男性の育児休暇取得者はいません。制度を作るのは簡単かもしれませんが、使われる制度にしなければ意味がありません。誰もが職場で後ろめたさや生活への不安を感じずに取得できる制度にするため、改善を続けていきたいです。

さらに、孫をもつ社員のための育児休暇制度など、子育てに関わる社員が安心して働ける環境を充実させていきたいです。

「勤務時間内に仕事を「して帰る」を目標に、人の動き方や作業の進め方など、業務工程の整理とマニュアル化に会社全体で取り組んだところ、作業時間の短縮につながり、定時に帰る社員が増えました。残業が必要な時もありますが、その状態が続かないように職場ごとの目標管理などを行っています。

また、マニュアルを共有化したことで、担当者がいなくても誰かが代わりに仕事ができるようになり、休暇を取りやすくなりました。さらに、残業代に充てていた経費も減り、その分、給料への還元にも取り組めました。



管理本部労務課 係長
水島 美子さん
(神戸)

勤務時間の短縮や在宅ワーク制度などを取り入れていきます。取り組みを始めたきっかけは、岡山市内在住のデザイナーが入社したことでした。ほかの社員が30分程度で通勤している中、この社員は片道で約2時間が掛かっています。帰宅後の時間が確保できてプライベートが充実する方が仕事の効率が良くなるのではと考え、給料はそのままで勤務時間を2時間短くする制度を会社側から提案し、実施しました。さらに、社員と相談して週2〜3回の在宅ワークができるようにしました。

一人ひとりに合わせて支援していきたい！ 認定企業第2号 レプタイル株式会社(田町)

わたし自身も子育てをしながら働く大変さを経験しています。子育て世代の社員にとって働きやすい環境を作りたかったので、社内に保育スペースを設け、子どもが病気の時には一緒に出勤できるようにしました。子どもの様子が気になる時、そばで仕事ができるので、社員は喜んでいきます。

気になることを抱えたまま、仕事をしてもはかどりません。子どもの学校行事がある日は休み、家族が自分が必要としている時は早く帰るなど、気になることをできる限り早く解消した方が、本人にとっても会社にとってもプラスになります。

「一人ひとりに輝いてほしい」という願いを持って、社員それぞれに合わせて支援制度を作っています。

勤務時間の短縮や在宅ワーク制度などを取り入れていきます。取り組みを始めたきっかけは、岡山市内在住のデザイナーが入社したことでした。ほかの社員が30分程度で通勤している中、この社員は片道で約2時間が掛かっています。帰宅後の時間が確保できてプライベートが充実する方が仕事の効率が良くなるのではと考え、給料はそのままで勤務時間を2時間短くする制度を会社側から提案し、実施しました。さらに、社員と相談して週2〜3回の在宅ワークができるようにしました。



取締役副社長
白石 七重さん
(八出)

ご利用ください！

津山市ワーク・ライフ・バランス推進および女性活躍推進アドバイザー派遣事業

市では、企業などへのアドバイザーの派遣を行っています。

相談内容(例) 仕事と生活の両立支援・助成制度に関する情報提供や活用支援、就業規則の整備や見直しの助言、職場環境の整備に向けた提案 など

対象 ①従業員数が300人以下で、津山市内に事業所がある事業者
②津山市内にある2つ以上の事業者で構成する任意のグループ

募集予定数 10社(グループを含む)程度

派遣回数 1年度に3回(対象②のグループは1年度に1回)

費用 無料



個人権啓発課 ☎31-2533

どんな取り組みを知りたいの？ 会社にどんな働き方があるの？